

2003年2月10日に、さぬき市のシンボルとなる「市章」が制定されました。これは、公募によって全国から寄せられた多数の力作の中から厳選されたものを、市民投票で決定したものです。市章と同様に市民投票によって、「市の木」「市の花」「市の色(カラー)」も制定されました。

市章



さぬき市の頭文字(イニシャル)の「S」をいかして描いたもので、市の将来像をうたった「親自然・真健康・新創造都市 さぬき市」のすべてのイニシャルをも表現している。

青(市章上側)は大空と瀬戸内海の海の色で沿岸部を、緑(市章下側)は豊かな自然と平和に満ちた内陸部を表現している。全体像としては、すべての市民がともに手を携えて、新しい世紀へ夢や希望を持って回転する姿であり、そのエネルギーとなる潮流の姿を中心部に置いたもので、左右には大空高く舞い上がる海鳥や山野鳥の飛翔を描き、さぬき市の輝かしい未来を象徴している。



市の木 [マツ]



市の花 [コスモス]



市の色 (カラー) [ミドリ]